

第2号報告資料

平成28年度事業報告書

(平成28年2月1日から平成29年1月31日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第116回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行った。

日時 平成28年4月14日～16日

場所 大阪国際会議場/リーガロイヤルホテル大阪（大阪市）

参加者数 15,390名 演題数 3,480題

テーマ 「新しい外科学の価値を創造する：

Innovation for Science, Technology, and Education in Surgery」

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・内容をリニューアルした学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行した（第118巻より通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本とした）。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成28年2月10日	117	臨時増刊2	39,200
平成28年3月1日	117	2	38,100
平成28年5月1日	117	3	38,300
平成28年7月1日	117	4	38,400
平成28年9月1日	117	5	38,600
平成28年11月1日	117	6	38,500
平成29年1月1日	118	1	7,000
平成29年1月25日	118	臨時増刊1	40,000

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成28年2月1日	46	2	40,000
平成28年3月1日	46	3	40,000
平成28年4月1日	46	4	40,000
平成28年5月1日	46	5	40,000
平成28年6月1日	46	6	40,000
平成28年7月1日	46	7	40,000
平成28年8月1日	46	8	40,000
平成28年9月1日	46	9	40,000
平成28年10月1日	46	10	40,000
平成28年11月1日	46	11	40,000
平成28年12月1日	46	12	40,000
平成29年1月1日	47	1	40,000

- ・ Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行した。

発行年月日	巻
平成 28 年 2 月 1 日	2
平成 28 年 3 月 1 日	2
平成 28 年 4 月 1 日	2
平成 28 年 5 月 1 日	2
平成 28 年 6 月 1 日	2
平成 28 年 7 月 1 日	2
平成 28 年 8 月 1 日	2
平成 28 年 9 月 1 日	2
平成 28 年 10 月 1 日	2
平成 28 年 11 月 1 日	2
平成 28 年 12 月 1 日	2
平成 29 年 1 月 1 日	3

- ・ 学会誌「日本外科学会雑誌」に“会員のための企画”として連載中の「医療訴訟事例から学ぶ」を書籍化し、平成 28 年 4 月から販売を開始した。
- ・ 外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、平成 28 年 4 月から販売を開始した。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ German Society of Surgery (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行った。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) と Joint Meeting を行った。
- ・ 日本医学会, 日本医学会連合, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会, 禁煙推進学術ネットワークの活動に積極的に参画した。
- ・ 外科系 18 学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・ 標準手術ビデオを 5 本作成して、ビデオライブラリーに収載した。
馬場 秀夫（熊本大学消化器外科）
「胃上部がんに対する脾温存胃全摘 D2 郭清術」
- 田口 智章（九州大学小児外科）
「腋窩皺切開による小児胸部手術（先天性食道閉鎖症と嚢胞性肺疾患）」
- 戸井 雅和（京都大学乳腺外科）
「両側乳腺全摘術と両側センチネルリンパ節生検術＋エキスパンダー挿入術」
- 益田 宗孝（横浜市立大学外科治療学）
「各種弁輪拡大術を伴った大動脈弁置換術」
- 吉野 一郎（千葉大学呼吸器病態外科）
「気管・気管分岐部の切除再建術」

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・外科専門医制度に則り，外科専門医を認定し，指導医を選定し，認定登録医を登録し，指定施設と関連施設を指定した。
- ・認定医が外科専門医，もしくは認定登録医に移行できるための特別救済措置を行った。
- ・日本専門医機構の委託を受けて，わが国の新しい専門医制度の構築のために，「外科領域専門研修プログラム」の1次審査を行った。
- ・外科専門医を日本専門医機構認定の専門医に移行させるための諸準備を行ったが，移行の時期は当面先送りとした。
- ・日本外傷診療研究機構，日本 Acute Care Surgery 学会，日本腹部救急医学会などの協力を得て，専攻医の外傷の修練を強化した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に則り，該当者から利益相反自己申告書を回収した。
- ・第16回臨床研究セミナーを下記のとおり行い，ホームページで動画配信した。
日時 平成28年4月16日
場所 大阪国際会議場（大阪市）参加者数 2,494名
- ・第17回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共催で下記のとおり行い，ホームページで動画配信した。
日時 平成28年11月26日
場所 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール（東京都港区）参加者数 534名
- ・第23回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰した（5名）。
馬場 基（北海道がんセンター乳腺外科）
Strong cytoplasmic expression of NF- κ B/p65 correlates with a good prognosis in patients with triple-negative breast cancer 46 : 843-851
岸 健太郎（大阪警察病院消化器外科）
Usefulness of diagnostic laparoscopy with 5-aminolevulinic acid (ALA)-mediated photodynamic diagnosis for the detection of peritoneal micrometastasis in advanced gastric cancer after chemotherapy 46 : 1427-1434
澤端 章好（星ヶ丘医療センター呼吸器外科）
Perioperative circulating tumor cells in surgical patients with non-small cell lung cancer : does surgical manipulation dislodge cancer cells thus allowing them to pass into the peripheral blood? 46 : 1402-1409
大津 正義（千葉市立海浜病院心臓血管外科）
Analysis of anatomical risk factors for persistent type II endoleaks following endovascular abdominal aortic aneurysm repair using CT angiography 46 : 48-55
久保 正二（大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学）
Screening and surveillance for occupational cholangiocarcinoma in workers exposed to organic solvents 46 : 705-712

- ・第116回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題をビデオライブラリーに収録して、制作補助費を支給した。
 - 小池 聖彦（名古屋大学消化器外科）
「小腸による食道再建の定型的適用と再建困難症例への応用について」
 - 中村 透（北海道大学消化器外科 II）
「Long-term results of 80 consecutive resection of locally advanced pancreatic body cancer using DP-CAR : Right-sided approach to the celiac artery intended to R0 resection」
 - 大塚 隆生（九州大学臨床・腫瘍外科）
「Circumportal Pancreas における臍切除術の要点」
 - 小川 朋子（三重大学乳腺外科）
「人工物と自家組織を併用した乳房再建手術」
 - 田端 実（東京ベイ・浦安市川医療センター心臓血管外科）
「完全内視鏡下僧帽弁形成術におけるシンプルかつ効果的な弁形成法」
 - 松井 琢哉（刈谷豊田総合病院呼吸器外科）
「Transmanubrial Osteomuscular Sparing Approach を用いて切除再建した右腕頭・鎖骨下動脈へ浸潤した異所性甲状腺癌の1例」
 - 陳 豊史（京都大学呼吸器外科）
「Innovative surgical technique : right and left inverted lobar lung transplantation」
 - 新浪 博（埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科）
「TAVI時代の重症大動脈弁狭窄症外科治療」
 - 石井 正之（神鋼記念病院大腸骨盤外科）
「骨盤内臓全摘術を行う際に必要な骨盤内静脈の解剖」
 - 山根 裕介（長崎大学小児外科）
「先天性十二指腸閉鎖症に対する腹腔鏡下手術—安全かつ確実に行う工夫—」
- ・「日本外科学会臨床研究助成」(JSS Clinical Investigation Project Award) の補助金を支給した (1名)。
 - 水島 恒和（大阪大学大学院医学系研究科炎症性腸疾患治療学寄附講座）
「進行下部直腸癌に対する術前補助化学療法 治療効果予測システムの研究開発」
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」(JSS Young Researcher Award) の補助金を支給した (5名)。
 - 東 陽子（群馬大学医学部附属病院）
「オミックス解析を用いた癌エクソソームによるイレッサ耐性メカニズムの解明」
 - 岩橋 衆一（徳島大学病院消化器・移植外科）
「発光ダイオード (LED) の波長強度可変装置による肝細胞保護に関する研究」
 - 高橋 秀和（大阪大学大学院医学系研究科外科系臨床医学消化器外科学講座 I）
「大腸がん早期発見を目的とした新規診断方法の開発」
 - 牧野 知紀（大阪大学消化器外科 II）
「抗 PD-1 抗体および化学療法の新規併用治療に向けた食道癌・胃癌における感受性予測研究」
 - 本村 貴志（九州大学消化器・総合外科）
「肝発癌を促進する微小環境の制御による革新的癌治療法の開発・研究」

- ・ National Clinical Database (NCD) を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務めた。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・ 第 89 回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。
 - 日時 平成 28 年 4 月 16 日
 - 場所 大阪国際会議場（大阪市） 参加者数 2,948 名
 - テーマ 「Basic Science と外科」
- ・ 第 90 回卒後教育セミナーを下記のとおり行った。
 - 日時 平成 28 年 11 月 26 日
 - 場所 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール（東京都港区） 参加者数 856 名
 - テーマ 「ガイドラインと外科」
- ・ 第 24 回生涯教育セミナーを下記のとおり行った。
 - テーマ 「胃癌」
 - （北海道地区）
 - 日時 平成 29 年 1 月 7 日
 - 場所 北海道大学医学部フラテホール（札幌市） 参加者数 155 名
 - （東北地区）
 - 日時 平成 28 年 9 月 10 日
 - 場所 山形テルサ（山形市） 参加者数 149 名
 - （関東地区）
 - 日時 平成 28 年 9 月 24 日
 - 場所 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区） 参加者数 313 名
 - （中部地区）
 - 日時 平成 28 年 6 月 5 日
 - 場所 岡谷市民病院（岡谷市） 参加者数 102 名
 - （近畿地区）
 - 日時 平成 28 年 5 月 14 日
 - 場所 大阪国際交流センター（大阪市） 参加者数 227 名
 - （中国四国地区）
 - 日時 平成 28 年 9 月 2 日
 - 場所 アルファあなぶきホール（高松市） 参加者数 116 名
 - （九州地区）
 - 日時 平成 28 年 5 月 14 日
 - 場所 ハウステンボスタワーシティ（佐世保市） 参加者数 90 名
- ・ 若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を行った。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・ National Clinical Database（NCD）に参加し，外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・ 「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine）」の運用を図った。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第4条第9号）

- ・ 広報活動として，第42回市民講座を下記のとおり行い，ホームページで動画配信した。
日時 平成28年4月16日
場所 リーガロイヤルホテル大阪（大阪市）
テーマ「君が外科医になる日」

⑩医療政策に関する建議（定款第4条第10号）

- ・ 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し，外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と，その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・ 「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として，死因の調査分析事業に協力した。
- ・ 「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・ 「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し，日本麻酔科学会の協力を得て「周術期管理・麻酔におけるマンパワーと労働環境及びチーム医療に関する実態調査」のアンケート調査を行った。
- ・ 日本女性外科医会と協働で，女性医師支援のアンケート調査を行った。
- ・ 医師の臨床研修制度の在り方について検討を行った。
- ・ 国立大学法人群馬大学の依頼を受けて，国立大学法人群馬大学医学部附属病院の腹腔鏡下肝切除術等の死亡事例に対する医学的・専門的な検証を行って，報告書を提出した。
- ・ 医学研究等における個人情報の取扱い等に関する合同会議に要望書を提出した。
- ・ 厚生労働大臣に「初期臨床研修における外科必修化のお願い」の要望書を提出した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・ 役員および代議員を選任した。